

こんな先生いるよ!

「研究、就職、結婚…、
諦めずに進んで
やりたいことをやるべき」

創域理工学部
先端化学科 特別講師
わたなべ ひかり
渡辺日香里 先生



より高安全で高エネルギー密度の
次世代蓄電池開発のための基礎研究

どのような研究をされているのですか。

低炭素社会実現へ向けた取り組みとして
自動車の電動化が進む昨今、車載用電源と
してリチウムイオン電池や燃料電池の普及
に伴い、さらなる高安全性、高エネルギー
密度が実現できる次世代蓄電池の開発が急
務となり、盛んに行われています。

その電池に使われる電解液としてイオン
液体や超濃厚電解質溶液などが期待される
中、学術的に不明な点が多い超濃厚電解質
溶液について、開発に向けた現象解明と学
理構築に不可欠となるスペシエーション分
析や反応解析の研究をしています。

現象を科学的に解明することが好き

研究者を志したきっかけは。

企業での研究職を視野に入れ就職活動を行っていた際、自分は「良い製品を作るための研究者」になりたいわけではなく、「科学的に興味深い現象を解明すること自体が好き」なのだと気づきました。大学院に進学したのも、卒論研究が面白く「せっかくならもっと突き詰めてきちんとした論文を残したい」との思いからでした。

新潟大学の院生だった頃、電気化学測定に精通する理科大の板垣昌幸先生の研究法を学びたくて研究室にお邪魔したのが、理科大とのご縁の始まりです。その時は、部外者も快く受け入れてくれて開放的で素敵な

研究室だなという印象で、まさかここで働ける日が来るとは思っていませんでした。たまたま板垣・四反田研究室で助教を募集すると知ってすぐに応募し、今に至ります。

いちばんの楽しみは姪と過ごす時間

休日はどうに過ごしていますか。

休日は家でまったりするのが好きなインドア派なのですが、ハーフマラソンに参加するほどスポーツ好きな夫に誘われ、最近ランニングをするようになりました。今いちばんの楽しみといえば、姉から頼まれて姪の子守りすることです。

実はもともと結婚に興味がなかったのですが、親戚で集まった際にかわいい赤ちゃんを見て、そこから急に結婚を意識するようになったんです。そんな折にご縁があり、夫と出会いました。結婚してからは、時間の使い方にメリハリがつけられるようになったと思います。夜は極力早く帰り、研究に集中したい時は朝早めに研究室に来るようになっていきます。

研究室では、一人の研究者として成長を目指す努力することはもちろんですが、学生とは年齢も近いので、困った時には気軽に相談できる先輩のような存在でありたいと思っています。学生の皆さんの中には、仕事と私生活のバランスなど将来への不安を抱えている人もいるかもしれませんが、自分がやりたいことをしっかりアピールし、諦めずに突き進んでほしい、ということを経験者として伝えていきたいと思っています。

藤沢享乃 (ジェイクリエイト)

【写真左】今年3歳の姪っ子と

【写真中】2024年夏のゼミ合宿（福島県猪苗代湖）

【写真右】溶液化学研究会奨励賞を受賞した際の授賞式（2023年10月）

